



教育目標

- ・よく考える人になろう
- ・進んで行動する人になろう
- ・責任感の強い人になろう
- ・豊かな心をもった人になろう



本との出会い

校長 眞々田 透

10月に入り、秋の気配を感じられる季節になってきました。今年もまもなく読書週間（10/27～11/9）が始まります。みなさんは、「ビブリオバトル」という言葉をご存知でしょうか。「ビブリオ」とは書物などを意味する言葉で、「ビブリオバトル」とは、一人5分間発表者たちがおすすめの本を持ち合い、本の内容を紹介し、一番読みたくなかった本をみんなで決定するものです。一言で「書評合戦」言います。小中学生にとっては、「読み聞かせ」や「ブックトーク」といった言葉の方が馴染みがあるかもしれませんが、本の面白さやすばらしさを伝えることには変わりありません。私はこの夏に冒険に心をそそられました。確かに人は冒険というものに憧れるところがあるのではないのでしょうか。早速私は冒険に関する本を読みたいと思いました。そこで、頭に浮かんできたのは、植村直己という冒険家のことです。「青春を山に賭けて」という本を読みました。

植村直己は1941年に生まれました。大学入学後、山岳部に入部して登山を知りました。そして卒業後すぐに、「海外の山に登ってみたい」という憧れから一人で日本を飛び出します。ヨーロッパの最高峰モンブランを皮切りに、マッターホルン、アフリカのキリマンジャロ、南アメリカのアコンカグアの単独登頂に成功し、この後、アマゾン川のイカダに下り、6600kmの冒険を経ました。そしてエベレスト遠征に参加し、北アメリカのマッキンリーに挑戦し、世界初の五大陸最高峰登頂者となります。

その後、エベレスト登頂し、南極横断の夢にとりつかれ、南極でエスキモーの人と一緒に生活もしました。「俺は絶対山では死なない」とっていた植村は1984年にマッキンリー単独登頂成功後、惜しくも消息を絶ちました。

植村の魅力は誰よりも自然を愛し、人を愛したからと言われています。確かに照れながら笑う植村は謙虚を忘れず素朴で人なつっこさを感じます。また、彼のまっすぐな夢に向かって突き進むひたむきさも人をひきつけるのだと思います。本の中でも「僕は人より恐がりです。足が震えたりします。僕は気が弱いんです。何かやってやろう、と思ってもその瞬間に心の中で不安が生まれる。それは、自分は自然と対等ではない。あくまでも挑戦者である。自分は小さな心臓一つをエネルギーにして、この山に挑むのだ。自分の中から甘えているものを取り除く連続で危険を冒さないように努力してやる。本当にやりたいことへ何が何でも向かった。その勇気こそが冒険で、精一杯やれば、そこに何か新しいものが生まれ、それが冒険の神髄である。誰もやったことのないことに挑戦する。」と述べています。この言葉から冒険家たる植村直己の人となりを知ることができ、冒険にロマンを感じます。

まさに、本はときに今の自分を奮い立たせ、自分の生き方を考えさせてくれ、自分の悩みにヒントを与えてくれます。本一冊読むと、作者と対話した体験をもつことができます。特に中学生にとって本と出会うことで、大人との出会いを積み重ね、ちゃんとした考えを自分の中に取り込むことが、人間的な心の豊かさにつながっていくのだと思います。本との出会いはみなさんの人生を左右するほどの力を持っています。ぜひ本に親しむ習慣を身に付け、秋の夜長を楽しんで欲しいと思います。

部活動や地域で活躍しています！

○第51回練馬区中学校陸上競技大会 男子第5位 女子第3位 総合第4位(10月2日)

男子 個人の記録

1年100m第6位、2年100m第7位、共通200m第5位、共通800m銅賞
共通400mリレー第4位、1年走り幅跳び銀賞、3年走り幅跳び銅賞・第7位

女子 個人の記録

1年100m第6位、2年100m銀賞・第7位、3年100m第5位、共通800m金賞・銅賞、1年400mリレー銀賞、2年400mリレー金賞、2年走り幅跳び第4位、1・2年砲丸投げ第4位、3年砲丸投げ銀賞

○練馬区読書感想文コンクール 佳作「星のかけら」3年女子(10月8日)

○足立区ジュニアスポーツ大会陸上競技大会

中学女子1年400mリレー第1位、中学女子2年400mリレー第2位、中学男子3年走り幅跳び第3位、中学女子1年100m第3位(10月13日)

☆人助けをしました

東大泉7丁目にお住まいの方よりお礼のお電話がありました。7日午前9時半頃、道で体調が悪くなってうずくまっていた人を野球部の4～5名が、その方をおんぶして家まで送り届けてくれました。先月も感謝のお電話がありました。地域の方々の中には本当に頼もしい中学生だと目に映ったと思います。

第56回体育祭を終えて

一週間ぐらい前から保健体育科の先生方は天気予報とにらめっこが続いていました。5日は雨のため中止となり、6日は天気と校庭の状態よっての判断でしたが、無事に体育祭を実施することができました。朝早くから係生徒が校庭の水たまりを整備し、白線を引き直し、濡れた机や椅子を雑巾で拭き、てきぱきと動いてくれたおかげで、時間通りに開催することができました。そして、一人一人が必死になって競技する姿はとてすばらしく、来賓・保護者・地域の人たちから名前がわからなくても、「□色ががんばれ!」「△色負けるなー!」と大きな声援が飛んでいました。午後になって太陽の日射しがまぶしいほどになり、保護者の自転車も駐輪場からあふれるほどの満杯状態となりました。応援合戦ではユニークな演技が笑いを誘い、3年生の創作ダンス・ロックソーランや組体操は、3年生としての成長した姿を見せてくれました。秋晴れのような爽やかな気持ちにさせてくれた体育祭でした。今年の体育祭もPTA役員始め、多くの保護者の方(受付21名・自転車整理87名・パトロール42名)のお手伝い。また、広報委員会・三学年委員会の取材、生活厚生委員会の標準服回収の協力がありました。ありがとうございました。



スローガンの垂れ幕(美術部制作)



3年男子組体操八段ピラミッド



3年女子創作ダンス・ロックソーラン

成績発表

○学年別 1年 優勝 A組294点 2年 優勝 F組336点 3年 優勝E組317点
準優勝F組286点 準優勝E組297点 準優勝A組291点

○色別総合 優勝 白組(F組)848点 準優勝 黄組(A組)829点

○応援合戦 最優秀賞 緑団(C組)512点 優秀賞 橙団(B組)496点